

○ 平成26年度嶺北地域アクションプランの追加、拡充、削除項目等について

地域アクションプランの追加・削除項目について

地域アクションプランの動向

H25年度 236 → H26年度 245 (+9)

地 域	H25年度	H26年度		
	AP数 H25.12時点	追 加	削 除	AP数
安 芸	30	6	▲2 (統合)	34
物部川	24	0	0	24
高知市	32	0	0	32
嶺 北	28	0	0	28
仁淀川	38	0	▲2 (統合)	36
高 幡	42	5	▲1	46
幡 多	42	4	▲1	45
合 計	236	15	▲6	245

平成26年度 嶺北地域アクションプラン（案）項目対比表

【嶺北地域】

No.	現在(平成25年度)	本 山 町	大 豊 町	土 佐 町	大 川 村
		24	19	19	17
1	れいほくブランドの園芸産地の維持	●	●	●	●
2	ユズ産地の確立と加工・販売の促進	●	●	●	
3	集落営農で元気な地域づくり	●	●	●	●
4	米のブランド化による稲作農業の展開	●			
5	(株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組		●		
6	JA出資型法人を核とする地域活性化の取組	●	●	●	●
7	直販所「本山さくら市」を核とした地域活性化の取組	●			
8	土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興	●	●	●	
9	土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化				●
10	間伐の推進と素材生産の拡大	●	●	●	●
11	れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進	●	●	●	●
12	県産材の地域における率先利用	●	●	●	●
13	木工製品の製造・販売による地域の活性化	●			
14	特用林産物(シキミ、サカキ)の拠点づくり	●	●	●	●
15	大型製材工場の設置による地域材の利用の促進	●	●	●	●
16	木質バイオマス利用拡大の取組	●	●	●	●
17	地域産品販売ポータルサイトによる商業展開・情報発信	●	●	●	●
18	土佐産直サテライトセンター(とさ千里(大阪))の活性化による地産外商の促進	●	●	●	●
19	嶺北地域の連携による交流人口の拡大	●	●	●	●
20	濁酒等を活用した地域資源との連携による地域の活性化	●	●		
21	白髪山・工石山を活用した交流人口の拡大による地域活性化の取組	●			
22	早明浦ダムを活用した交流人口の拡大による地域活性化の取組			●	●
23	棚田を活用した観光・交流人口の拡大による地域活性化の取組			●	
24	滞在型市民農園の推進による地域の活性化	●			
25	嶺北地域の連携による移住促進の取組	●	●	●	●
26	小水力発電の導入による地域活性化の取組	●	●	●	●
27	地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取組	●	●	●	●
28	集落活動センター「汗見川」が実施する交流人口拡大事業と特産品づくりによる地域活性化の取組	●			

No.	改定案(平成26年度)	本 山 町	大 豊 町	土 佐 町	大 川 村
		24	19	19	17
●	1 れいほくブランドの園芸産地の維持	●	●	●	●
●	2 ユズ産地の確立と加工・販売の促進	●	●	●	
●	3 集落営農で元気な地域づくり	●	●	●	●
●	4 米のブランド化による稲作農業の展開	●			
	5 (株)大豊ゆとりファームを核として地域資源の活用により地域産業を持続化させる取組		●		
●	6 JA出資型法人を核とする地域活性化の取組	●	●	●	●
●	7 直販所「本山さくら市」を核とした地域活性化の取組	●			
●	8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興	●	●	●	
	9 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化				●
●	10 間伐の推進と素材生産の拡大	●	●	●	●
●	11 れいほくスケルトン(嶺北材の邸別販売)の促進	●	●	●	●
●	12 県産材の地域における率先利用	●	●	●	●
●	13 木工製品の製造・販売による地域の活性化	●			
●	14 特用林産物(シキミ、サカキ)の拠点づくり	●	●	●	●
●	15 大型製材工場の設置による地域材の利用の促進	●	●	●	●
●	16 木質バイオマス利用拡大の取組	●	●	●	●
●	17 地域産品販売ポータルサイトによる商業展開・情報発信	●	●	●	●
●	18 土佐産直サテライトセンター(とさ千里(大阪))の活性化による地産外商の促進	●	●	●	●
●	19 嶺北地域の連携による交流人口の拡大	●	●	●	●
●	20 濁酒等を活用した地域資源との連携による地域の活性化	●	●		
●	21 白髪山・工石山を活用した交流人口の拡大による地域活性化の取組	●			
	22 早明浦ダムを活用した交流人口の拡大による地域活性化の取組			●	●
	23 棚田を活用した観光・交流人口の拡大による地域活性化の取組			●	
●	24 滞在型市民農園の推進による地域の活性化	●			
●	25 嶺北地域の連携による移住促進の取組	●	●	●	●
●	26 小水力発電の導入による地域活性化の取組	●	●	●	●
●	27 地域内高校と連携した将来の担い手育成に関する取組	●	●	●	●
●	28 集落活動センター「汗見川」が実施する交流人口拡大事業と特産品づくりによる地域活性化の取組	●			

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
2 ユズ産地の確立と加工・販売の促進 【大豊町、本山町、土佐町】	「環境」、「安全・安心」をキーワードにした園芸品のブランド化により、農業所得の向上を図るため、ユズのブランド化に向けた取組のレベルアップを行うとともに、ユズの加工・販売の促進に取り組む。	・嶺北地域果樹(ゆず)産地協議会 ・JA土佐れいほく	<p>・ユズ産地構造計画変更・作成(H21~22) ◆平成17年度に作成した計画を加工場の新設に伴い、内容に変更を加えた後、計画の期間が終了したため、新たに計画を作成して取組を行った。</p> <p>・ユズ加工場の建設・整備(H22) ◆旧ユズ加工場によるユズ加工品の開発・製造と販売努力により、売上げが年々向上した。この結果、農協加工場へのユズの出荷量の増加に伴い、処理能力の不足が顕著となったため、ユズ加工場を新たに建設した。新加工場は、搾汁ライン増設により果汁の搾汁率や品質が向上するとともに、ジュースラインの製造能力と衛生管理が強化された。新加工場は平成23年度より本格稼働が始まった。</p> <p>・国内・海外での販促活動の強化(H21~23) ◆販売面では、国内・海外の展示販売会など商談に積極的に参加し商談を行った。</p>	<p>・衛生管理の徹底</p> <p>・適正在庫の管理</p> <p>・生産者価格の向上</p>	◆ユズの生産拡大と高付加価値化
修正前					



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果		主な内容
			課題	課題	
2 ユズ産地の確立と加工・販売の促進 【大豊町、本山町、土佐町】	「環境」、「安全・安心」をキーワードにした園芸品のブランド化により、農業所得の向上を図るため、ユズのブランド化に向けた取組のレベルアップを行うとともに、ユズの加工・販売の促進に取り組む。	・嶺北地域果樹(ゆず)産地協議会 ・JA土佐れいほく	<p>・ユズ産地構造計画変更・作成(H21~22) ◆平成17年度に作成した計画を加工場の新設に伴い、内容に変更を加えた後、計画の期間が終了したため、新たに計画を作成して取組を行った。</p> <p>・ユズ加工場の建設・整備(H22) 旧ユズ加工場によるユズ加工品の開発・製造と販売努力により、売上げが年々向上した。この結果、農協加工場へのユズの出荷量の増加に伴い、処理能力の不足が顕著となったため、ユズ加工場を新たに建設した。新加工場は、搾汁ライン増設により果汁の搾汁率や品質が向上するとともに、ジュースラインの製造能力と衛生管理が強化された。新加工場は平成23年度より本格稼働が始まった。 (H24~25) H24年度にジュースライン、H25年度にPET充填ラインに昇版HACCPを導入した。</p> <p>・国内・海外での販促活動の強化(H21~25) ◆販売面では、国内・海外の展示販売会など商談に積極的に参加し商談を行った。 (H24~25) EUへの青果及び果汁輸出に向けた取組を行い、輸出候補園地を設定し、青果及び無農薬ユズ親会全体で取組を進めていくこととなった。</p>	<p>・衛生管理の徹底</p> <p>・適正在庫の管理</p> <p>・生産者価格の向上</p> <p>・EUへの青果及び果汁輸出体制整備</p>	◆ユズの生産拡大と高付加価値化
修正後					

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
ユズの生産拡大と高付加価値化					➔	ユズ加工品の販売額 (H19:3.4億円) (H22:4.6億円)	6億円
新ユズ加工施設の経営安定化、品質管理の向上							
品質向上のための施設整備の検討							
ユズの新商品開発、商品宣伝及び販促活動、販売体制の強化							
新植園の栽培指導強化		ユズ玉の品質向上					
栽培管理技術の向上、担い手となる生産者の育成							
ユズ産地構造改革計画の着実な実施			次期ユズ産地構造改革計画の検討・策定	計画の着実な実施			



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
ユズの生産拡大と高付加価値化					➔	ユズ加工品の販売額 (H19:3.4億円) (H22:4.6億円)	6億円
新ユズ加工施設の経営安定化、品質管理の向上							
品質向上のための施設整備の検討							
ユズの新商品開発、商品宣伝及び販促活動、販売体制の強化							
新植園の栽培指導強化		ユズ玉の品質向上					
栽培管理技術の向上、担い手となる生産者の育成							
ユズ産地構造改革計画の着実な実施			次期ユズ産地構造改革計画の検討・策定	計画の着実な実施			

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21～23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
7 直販所「 本山さくら市 」を核とした地域活性化の取組 《 本山町 》	過疎化・高齢化の進行する嶺北地域の重要な食材供給拠点を施設として、地域内外の集客力をより高めて販売額の向上を図り、地域を巻き込みながら、生産者の所得向上と活力ある地域づくりを目指す。	- 本山さくら市運営委員会 -(財)本山町農業公社 - 本山町			◆商品の充実 ◆積極的な情報発信 ◆人材の育成
修正前					



【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
7 直販所「 本山さくら市 」を核とした地域活性化の取組 《 本山町 》	過疎化・高齢化の進行する嶺北地域の重要な食材供給拠点を施設として、地域内外の集客力をより高めて販売額の向上を図り、地域を巻き込みながら、生産者の所得向上と活力ある地域づくりを目指す。	- 本山さくら市運営委員会 -(財)本山町農業公社 - 本山町	-H24年度は産販総合支援事業費補助金(ステップアップ事業)を活用し、商品の情報発信や集客のためのチラシ、店のリーフレットを作成し、県内外に配布した。また、会員対象にPOP作成講習会を開催し、出荷品の情報発信方法の習得による販売額向上、魅力ある店作りを目指した。 -H25年度は商品の充実を図るため、栽培講習会を実施、さらに調理加工施設の設置に関する検討を始めた。		◆商品の充実 ◆積極的な情報発信 ◆人材の育成
修正後					

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
→					販売額 (H22:1.39億円)	1.8億円
商品の充実						
栽培講習会(果物・野菜)・現地園場研修の開催、種苗配布						
集荷体制の検討		集荷の試行・実施				
オリジナル加工品の検討		オリジナル加工品の開発・販売促進活動				
施設・設備の整備の検討・導入						
→						
積極的な情報発信						
商品情報の充実 (レシピ・POP等の整備)		商品情報の発信				
販売促進活動・情報発信活動(広告やチラシの配布、催事の開催、消費者との交流活動等)						
→						
人材の育成						
定期的な運営委員会の開催(運営体制、企画、事業展開等)						
新規会員の開拓(生産者への呼びかけ・PR、研修会の開催等)						



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
→					販売額 (H22:1.39億円)	1.8億円
商品の充実						
栽培講習会(果物・野菜)・現地園場研修の開催、種苗配布						
集荷体制の検討		集荷の試行・実施				
オリジナル加工品の検討		オリジナル加工品の開発・販売促進活動				
施設・設備の整備の検討・導入						
→						
積極的な情報発信						
商品情報の充実 (レシピ・POP等の整備)		商品情報の発信				
販売促進活動・情報発信活動(広告やチラシの配布、催事の開催、消費者との交流活動等)						
→						
人材の育成						
定期的な運営委員会の開催(運営体制、企画、事業展開等)						
新規会員の開拓(生産者への呼びかけ・PR、研修会の開催等)						

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興 《本山町、土佐町、大豊町》	土佐あかうしの産地を守り、地域の畜産振興を図るため、飼養者の競争力を確保するとともに、土佐あかうしの生産基地化を図る。 また、繁殖・肥育の一貫経営を行い、生産と食肉加工から販売に至る畜産の6次産業化に向けた取組を進める。	・JA土佐れいほく ・(株)れいほく未来 ・飼養者 ・本山町 ・土佐町 ・大豊町	・放牧場用地の選定(H21~23) ・簡易放牧場の設置(H22) ◆放牧場の適地が確保できなかったことから、土佐あかうしの増頭や新たな雇用につながらなかった。一方、嶺北地域では、土佐あかうしの増頭や施設整備の計画があり、その計画との関連性が見いだせれば、土佐あかうしによる地域の畜産振興の可能性はある。	・放牧地や畜舎等(付帯施設)の土地の確保 ・畜産農家の減少による牧場整備後の運営	◆飼養者の競争力を確保するための取組 ◆生産基地の整備と6次産業化に向けた取組

修正前



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
8 土佐あかうしの競争力の確保による肉用牛産業の再興 《本山町、土佐町、大豊町》	土佐あかうしの産地を守り、地域の畜産振興を図るため、飼養者の競争力を確保するとともに、土佐あかうしの生産基地化を図る。 また、繁殖・肥育の一貫経営を行い、生産と食肉加工から販売に至る畜産の6次産業化に向けた取組を進める。	・JA土佐れいほく ・(株)れいほく未来 ・飼養者 ・本山町 ・土佐町 ・大豊町	・放牧場用地の選定(H21~23) ・簡易放牧場の設置(H22) ◆平成24年度には放牧を実施したが、継続して放牧を確保できなかったことから、土佐あかうしの増頭や新たな雇用につながらなかった。一方、嶺北地域では、土佐あかうしの未来を担う産地事業が始まり、繁殖雌牛150頭・肥育牛250頭規模の畜舎建設が進んでいる。また、個人でも「レンタル畜舎等施設整備事業II」による畜舎整備計画があり、土佐あかうし増頭の取組が進行している。	・放牧地の土地の確保や畜舎等(付帯施設)の整備 ・畜産農家の減少による牧場整備後の運営	◆飼養者の競争力を確保するための取組 ◆生産基地の整備と6次産業化に向けた取組

修正後

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
飼養者の競争力を確保するための取組					→	土佐あかうしの販売額 (H19:2億円) (H22:1.9億円)	2.1億円
公営放牧場の用地の確保		牧場の整備	管理畜舎の整備	放牧の開始			
牛肉の加工品の開発・商品化							
生産基地の整備と6次産業化に向けた取組					→		
肥育畜舎及び付帯施設の整備		繁殖畜舎の整備	食肉加工施設の整備				
担い手の確保・育成(研修生の受け入れ)							
食肉の販路開拓							



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
飼養者の競争力を確保するための取組					→	土佐あかうしの販売額 (H19:2億円) (H22:1.9億円)	2.1億円
公営放牧場の用地の確保		牧場の整備	管理畜舎の整備、 放牧の開始				
牛肉の加工品の開発・商品化							
生産基地の整備と6次産業化に向けた取組					→		
肥育畜舎及び付帯施設の整備		繁殖畜舎の整備	食肉加工施設の整備				
担い手の確保・育成(研修生の受け入れ)							
食肉の販路開拓							

修正項目(案)

【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
<p>9 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化</p> <p>【大川村】</p> <p>修正前</p>	<p>大川村の基幹産業である畜産の振興により地域の活性化を図り、雇用の確保、所得の向上につなげる。</p>	<p>・(株)むらびと本舗 ・大川村</p>	<p><大川黒牛> -繁殖雌牛の保留・更新(H21~23) -新たな事業主体による事業継続(H23~) ◆平成21~23年度に大川村の支援を受けて繁殖雌牛の更新(若返り)を一部行ったが増頭や新たな雇用には至っていない。また、大川村和牛生産組合は平成23年3月末で解散し、4月より(株)むらびと本舗が経営と生産を引き継ぎ雇用を維持したが、肉用牛事業については、増頭も含めた経営の安定化に努める必要がある。</p> <p><土佐はちきん地鶏> -生産施設の整備(H21~23) -販売促進活動(H21~23) ◆10万羽の生産施設の整備は22年度に完了し、新たな雇用が生まれるなどの効果が生み出されている。一方、施設整備や施設の改築を行いつつ短期間に生産羽数を伸ばしたことなどから、職員の飼養管理技術が追いつかず育成率、飼料効率等が低下し収益を下げている。</p>	<p><大川黒牛> -繁殖雌牛の高齢化 -繁殖雌牛の導入及び育成経費の確保</p> <p><土佐はちきん地鶏> -飼養管理技術の習得 -出荷体制の改善 -生産原価の上昇</p>	<p>◆飼養者の競争力を確保するための取組</p> <p>◆生産基地の整備と6次産業化に向けた取組</p>



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
<p>9 土佐はちきん地鶏・大川黒牛を活用した畜産業の活性化</p> <p>【大川村】</p> <p>修正後</p>	<p>大川村の基幹産業である畜産の振興により地域の活性化を図り、雇用の確保、所得の向上につなげる。</p>	<p>・(株)むらびと本舗 ・大川村</p>	<p><大川黒牛> -繁殖雌牛の保留・更新(H21~23) -新たな事業主体による事業継続(H23~) ◆平成21~23年度に大川村の支援を受けて繁殖雌牛の更新(若返り)を一部行い54頭に増頭したが、新たな雇用には至っていない。また、大川村和牛生産組合は平成23年3月末で解散し、4月より(株)むらびと本舗が経営と生産を引き継ぎ雇用を維持したが、肉用牛事業については、増頭も含めた経営の安定化に努める必要がある。</p> <p><土佐はちきん地鶏> -生産施設の整備(H21~25) -販売促進活動(H21~25) ◆10万羽の生産施設の整備は平成22年度に完了し、新たな雇用が生まれるなどの効果が認められた。一方、施設整備や施設の改築を行いつつ短期間に生産羽数を伸ばしたことなどから、職員の飼養管理技術が追いつかず育成率、飼料効率等が低下し収益を下げている。</p>	<p><大川黒牛> -繁殖雌牛の高齢化 -繁殖雌牛の導入及び育成経費の確保 -肥育牛の増頭</p> <p><土佐はちきん地鶏> -飼養管理技術の習得 -出荷体制の改善 -生産原価の上昇</p>	<p><大川黒牛> ◆更新牛の増頭 繁殖雌牛の導入</p> <p><土佐はちきん地鶏> ◆飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備</p>

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
<p><大川黒牛>更新牛の増頭、繁殖雌牛の導入</p> <p>繁殖雌牛の自家更新・外部導入(45頭(H24)→75頭((H27))</p>					<p>黒牛の販売額 (H19:7.0千万円) (H22:6.5千万円)</p>	<p>8.2千万円</p>
<p><土佐はちきん地鶏>飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備</p> <p>中期事業計画の実践(経営改善、体制改善、販路拡大等)</p> <p>次期中期事業計画の策定</p> <p>次期中期事業計画の実践</p> <p>飼養管理技術の向上(先進事例の視察、研修会の実施等)</p> <p>食鳥処理・加工施設の検討</p> <p>食鳥処理・加工施設の整備</p> <p>はちきん地鶏の販路開拓、加工品の開発・販路開拓</p> <p>村内農家への普及と飼育開始</p>						
					<p>出荷羽数 (H19:1万羽) (H22:5.1万羽)</p>	<p>10万羽</p>

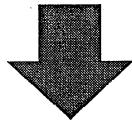


第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
<p><大川黒牛>更新牛の増頭、繁殖雌牛の導入</p> <p>繁殖雌牛の自家更新・外部導入(45頭(H24)→75頭((H27))</p>					<p>黒牛の販売額 (H19:7.0千万円) (H22:6.5千万円)</p>	<p>8.2千万円</p>
<p><土佐はちきん地鶏>飼養管理技術の向上及び食鳥処理施設の整備</p> <p>中期事業計画の実践(経営改善、体制改善、販路拡大等)</p> <p>次期中期事業計画の策定</p> <p>次期中期事業計画の実践</p> <p>飼養管理技術の向上(先進事例の視察、研修会の実施等)</p> <p>食鳥処理・加工施設の検討</p> <p>食鳥処理・加工施設の整備</p> <p>はちきん地鶏の販路開拓、加工品の開発・販路開拓</p> <p>村内農家への普及と飼育開始</p>						
					<p>出荷羽数 (H19:1万羽) (H22:5.1万羽)</p>	<p>10万羽</p>

修正項目(案)



【嶺北地域】

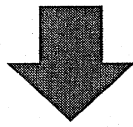
項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
16 木質バイオマス利用拡大の取組 【嶺北地域全域】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正前</div>	木質バイオマスの利用拡大と林業の活性化を図る。	・民間事業者 ・本山市 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	・加工施設の設置・事業展開(H23) ・木質バイオマスボイラー等の導入設置(H22~23) ◆木質バイオマス利用施設の導入により、木質資源の利活用が促進された。また、工場残材の有効利用により、燃料コスト削減が成果として見え始めている。 一方、木質バイオマス加工施設の建設が進んでいることから、H24以降は地域内の未利用間伐材(林地残材)の利活用が促進されることに期待ができる。	・原木(C材)の安定供給体制の構築 ・木質バイオマスの利用拡大	◆原木(C材)の安定供給 ◆木質バイオマス発電施設等の導入検討





【嶺北地域】

項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
16 木質バイオマス利用拡大の取組 【嶺北地域全域】 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 10px auto;">修正後</div>	木質バイオマスの利用拡大と林業の活性化を図る。	・民間事業者 ・本山市 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	・加工施設の設置・事業展開(H23) ・木質バイオマスボイラー等の導入設置(H22~25) ◆木質バイオマス利用施設の導入により、木質資源の利活用が促進された。また、工場残材の有効利用により、燃料コスト削減が成果として見え始めている。 一方、木質バイオマス加工施設が建設されたことにより、地域内の未利用間伐材(林地残材)の利活用が促進されてきている。	・原木(C材)の安定供給体制の構築 ・木質バイオマスの利用拡大	◆原木(C材)の安定供給 ◆木質バイオマス発電施設等の導入検討

第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					チップ材の取扱量	2,500t
原木(C材)の安定供給						
土佐町森林資源活用検討協議会による事業展開の検討、仕組みづくり						
林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による仕組みづくり (本山町、土佐町、大川村)		林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による実践活動 (本山町、土佐町、大川村)				
						
木質バイオマス発電施設等の導入検討						
木質バイオマス発電施設等の導入に向けた調査・検討 (大豊町)	木質バイオマス発電施設等の実施主体の会社設立及び設備認定(大豊町)	木質バイオマス発電施設等の整備(大豊町)	木質バイオマス発電施設等の稼働 (大豊町)			



第2期計画					指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)
					チップ材の取扱量	2,500t
原木(C材)の安定供給						
土佐町森林資源活用検討協議会による事業展開の検討、仕組みづくり						
林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による仕組みづくり (本山町、土佐町、大川村)		林地残材等の活用に向けた「木の駅プロジェクト」等による実践活動 (本山町、土佐町、大川村)				
						
木質バイオマス発電施設等の導入検討						
木質バイオマス発電施設等の導入に向けた調査・検討 (大豊町)		木質バイオマス発電施設等の実施主体の会社設立及び設備認定(大豊町)	木質バイオマス発電施設等の整備(大豊町)	木質バイオマス発電施設等の稼働 (大豊町)		
		木質バイオマス加工施設の整備(大豊町)				

第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
受け入れ体制の整備(ハード)					→	ツアー参加者	200人
現地調査	歩道・ベンチ等の整備、案内板の設置		歩道や案内板の補修				
受け入れ体制の整備(ソフト)					→		
ガイド育成 企画、開発	内容の見直し、新たなコースの開発						
登山ルートマップの作成							
ツアー開催					→		
モニターツアー、エージェ ント提携ツアーの開催な どのPR活動	ツアーの開催						



第2期計画					指標及び目標		
H24	H25	H26	H27	H28以降	指標	目標値(H27)	
受け入れ体制の整備(ハード)					→	ツアー参加者	200人
現地調査	歩道・ベンチ等の整備、案内板の設置		歩道や案内板の補修				
受け入れ体制の整備(ソフト)					→		
ガイド育成 企画、開発	内容の見直し、新たなコースの開発						
登山ルートマップの作成							
ツアー開催					→		
モニターツアー、エージェ ント提携ツアーの開催な どのPR活動	ツアーの開催						

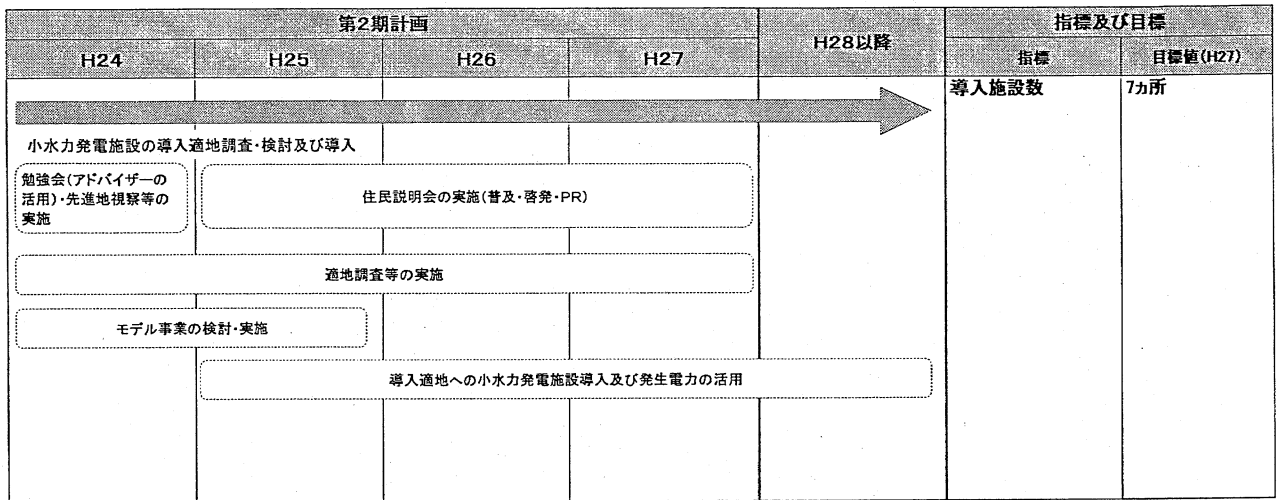
修正項目(案)

【嶺北地域】

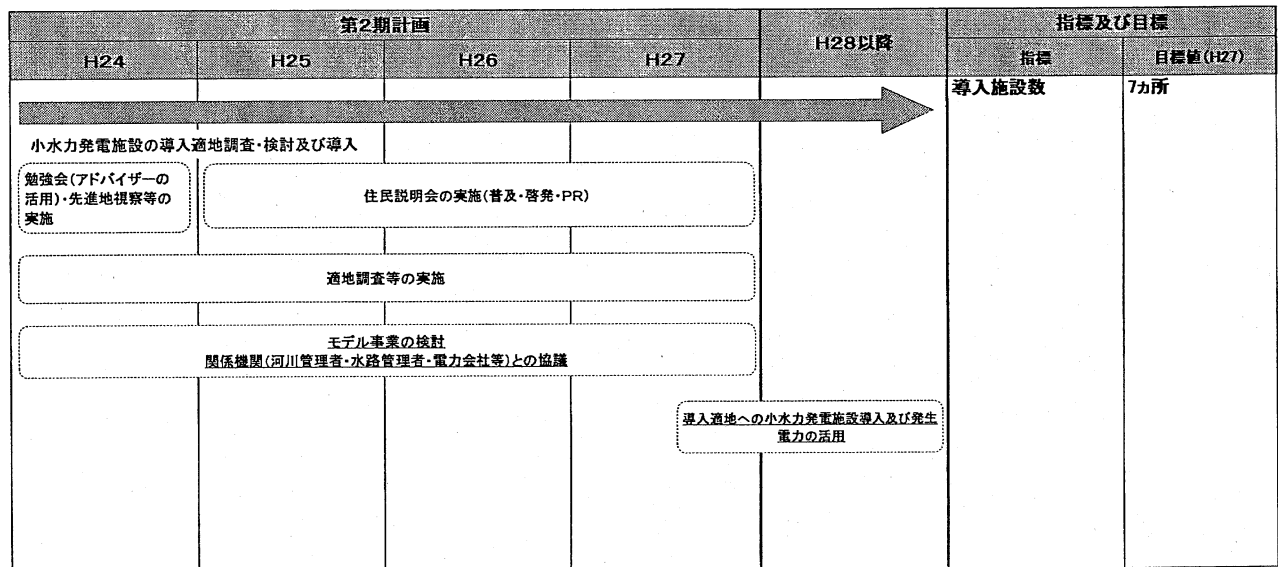
項目	事業の概要	事業主体	第1期計画(H21~23)の取組の総括等		主な内容
			総括	課題	
26 小水力発電の導入による地域活性化の取組 《嶺北地域全域》	地球温暖化防止対策等として再生可能エネルギーの利用の関心が高まっているなか、地域の豊富な水資源を活用して小水力発電を導入することにより、再生可能エネルギー取組の先進地として地域の活性化を図る。	・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村			◆小水力発電施設の導入適地調査・検討及び導入
修正前					



項目	事業の概要	事業主体	これまでの取組と成果	課題	主な内容
26 小水力発電の導入による地域活性化の取組 《嶺北地域全域》	地球温暖化防止対策等として再生可能エネルギーの利用の関心が高まっているなか、地域の豊富な水資源を活用して小水力発電を導入することにより、再生可能エネルギー取組の先進地として地域の活性化を図る。	・本山町 ・大豊町 ・土佐町 ・大川村	<ul style="list-style-type: none"> -4町村情報共有・意見交換会 -勉強会開催 -国の助成事業制度等の情報提供 -有望地点調査 -高知県公営企業局再生可能エネルギー利活用事業費補助金の活用(土佐町) <p>◆小水力発電に関する情報の共有</p> <p>◆地域内の3地点(大豊町2、大川村1)についての候補地調査の実施</p> <p>◆小水力発電を活用した地域活性化の取組への理解促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> -候補地の選定 -事業主体のあり方 -事業資金の確保 -水利権等法的手続き 	◆小水力発電施設の導入適地調査・検討及び導入
修正後					

第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
					導入施設数	7カ所	



第2期計画					H28以降	指標及び目標	
H24	H25	H26	H27	指標		目標値(H27)	
					導入施設数	7カ所	

